

沿革

昭和23年11月	教育委員会発足、二州支局・若狭支局設置
昭和31年1月	二州支局廃止、若狭支局に吸収合併
昭和33年7月	小浜市竹原、県若狭事務所新庁舎（現 若狭健康福祉センター所在地）移転
昭和45年4月	若狭地区へき地複式教育センターを上中町熊川に設置 特殊教育推進センターを小浜市に設置
昭和46年6月	教育庁若狭支局に名称変更 次長制となる
昭和49年10月	小浜市竹原 元 小浜警察署（現 小浜郵便局所在地）へ移転
昭和50年7月	教育庁若狭教育事務所に名称変更
昭和50年10月	小浜市遠敷 若狭合同庁舎完成に伴い移転
昭和51年5月	次長制を廃止、二課制（総務・指導）となる
昭和56年4月	小浜市遠敷 教育研究所若狭支所庁舎完成に伴い移転 教育研究所若狭支所開設 二州地区と若狭地区のへき地複式教育センターを教育研究所若狭支所庁舎内に移転
昭和57年10月	若狭歴史民俗資料館開館に伴い歴史民俗等の業務を移管
昭和58年4月	二州地区と若狭地区のへき地複式教育センターを統合し、嶺南へき地複式教育センターに名称変更 特殊教育推進センターを改組し、特殊教育センターとし教育研究所若狭支所庁舎内に嶺南駐在を置く
平成8年4月	機構改革により、若狭教育事務所・教育研究所若狭支所・嶺南へき地複式教育センター・特殊教育センター嶺南駐在を統合し、現在地に教育庁嶺南教育事務所を設置するとともに、敦賀合同庁舎内に敦賀駐在を置く

方針

福井県教育振興基本計画の理念を踏まえ、人権尊重の精神を基盤に、嶺南の特色を生かした「夢と希望」「ふるさと愛」を育む教育を推進する。

嶺南教育事務所が育てたい「嶺南の子」→「自分と向き合い・考える子」「自らつながる子」

- ◆本庁、嶺南地区市町教育委員会、学校との連携・協働を推進し、嶺南の特色を生かした教育振興と、新たな時代を見据えた教育課題の解消に努める。
- ◆「引き出す・楽しむ教育」および「ふるさと教育」の推進により、主体的な学習態度や資質・能力を身につけ、多様な人と協働する子を育成する持続可能な学校運営を、適切かつ迅速に指導・支援する。
- ◆学校支援・学級支援の取組を通して、誰もが安心して学べる教育環境の整備とともに、児童生徒の教育的ニーズを明らかにし、個に応じた教育体制の充実に向けて支援する。
- ◆福井県教員育成指標に基づいた研修および学校課題に応じた訪問型研修の実施、嶺南の特色と教育課題に即した研究の充実を図りながら、教職員の資質向上を支援する。

組織

所長

次長

総務課

教職員の給与・旅費
教職員の任免・人事
文化財の保存・活用

指導相談課

資質・能力育成
生徒指導・人権同和教育
学校訪問

特別支援教育課

就学相談
教育的ニーズのある子の教育相談
校内支援体制サポート

研修課

教職員研修
教育課題に関する研究
教育図書

嶺南の小中学校

令和6年4月現在

小学校

	高浜町	おおい町	小浜市	若狭町	美浜町	敦賀市	嶺南	県	割合%
学校数	4	4	9	9	3	11	40	183	21.9
学級数	28	30	78	59	24	145	364	1885	19.3
児童数	457	413	1413	660	367	3171	6481	36700	17.7
教員数	39	42	105	84	33	182	485	2447	19.8

中学校

	高浜町	おおい町	小浜市	若狭町	美浜町	敦賀市	嶺南	県	割合%
学校数	2	2	2	2	1	5	14	70	20.0
学級数	13	15	30	19	8	70	155	844	18.4
生徒数	247	249	753	387	187	1657	3480	19708	17.7
教員数	26	28	49	34	14	114	265	1445	18.3

学校教育

令和6年度 主な県事業・管内研究指定校等一覧

主な県事業名	研究指定校等
ふるさとの魅力発信推進事業	令和3年度より5年間ですべての小中学校が実施
芸術教育推進事業（弦楽）	【継続】松陵中
中学校における習熟度別学習	【数学】松陵中、粟野中、小浜中、高浜中 【英語】気比中、小浜二中
親子で学ぶ道徳講座	中郷小、内外海小、美浜中央小
スクールカウンセラー配置事業	拠点校：9校 対象校：22校 単独校：21校
スクールソーシャルワーカー配置事業	嶺南全域に2名配置、敦賀市に2名配置、小浜市に1名配置
NIE実践校	沓見小、三方中
英語教育推進事業	気山小、上中中、小浜中
タブレット端末活用モデル事業	粟野小、粟野南小、内外海小、雲浜小、小浜中、美浜西小、和田小、大飯中、上中中

教職員研修

研修講座 (R6 予定)

教科研修講座 (8 講座)

- ・小学校、中学校国語科
- ・中学校社会科
- ・小学校算数科
- ・中学校数学科
- ・小学校理科
- ・中学校英語科
- ・小・中学校道徳科

若教連研修講座 (4 講座)

※若教連…若狭地方教育委員会連絡協議会

- ・学びの集団づくり
- ・気になる子のサポート
- ・人権教育
- ・探究的な学び

訪問型研修 (実施内容例)

教科指導

- ・授業づくり
- ・学習評価
- ・校内研究の改善充実

教育相談・生徒指導

- ・集団づくり
- ・Q-U活用
- ・福井県版ポジティブ教育プログラム

情報教育・ICT活用

- ・1人1台端末の活用
- ・プログラミング教育

特別支援教育

- ・発達障がい、愛着障がい、ユニバーサルデザイン、合理的配慮
- ・学級単位の教育相談

人権教育

- ・人権教育の日常化

教育図書 (R5 購入)

- ・子どもの思考が動き出す 国語授業 4つの発問 (白坂洋一)
- ・小学校社会 問題解決的な学習の支え方 (横田富信)
- ・これからの英語授業にひと工夫 (阿野幸一 太田洋)
- ・ICT活用を位置づけた中学校数学の授業モデル (飯島康之 編著)
- ・理科の授業で大切なこと (鳴川哲也 編著)
- ・子どもの心の受け止め方 (川上康則)
- ・子どもの言葉で問いを創る授業 (鹿嶋真弓・石黒康夫)

嶺南の状況・諸事業

教育相談件数 (電話・来所)

R4 25件

R5 28件

相談内容 (R5 上位3項目)

- ①不登校
- ②学業・進路
- ③先生との関係

特別支援教育

相談件数(R5 受理数)

幼児 180件

小学生 168件

中学生 40件

主な相談障がい種 (R5 上位3項目)

- ①知的障がい
- ②ASD
- ③ADHD

ASD…自閉スペクトラム症。対人関係が苦手、強いこだわりといった特徴がある。
ADHD…注意欠如・多動症。興味対象の移り変わりが激しく、動かずにじっとしていることが苦手。不注意といった特徴も。

R5 訪問型研修内容

(上位3項目)

- ①特別支援教育
- ②福井県版ポジティブ教育プログラム
- ③ICT活用
Q-U活用
校内研修支援

昨年度は334名参加
令和6年度も開催!

嶺南教育実践フォーラム

開催予定日

令和7年2月5日(水)

6日(木)

7日(金)

教科研修講座参加教員数

R4 374名

R5 404名

若教連研修講座参加教員数

R4 236名

R5 289名

満足度の高かった講座 (R5 上位3講座)

- ①気になる子のサポート
- ②小学校理科
- ③中学校国語

令和6年度

嶺南の教育



福井県教育庁嶺南教育事務所

〒917-0241 福井県小浜市遠敷2丁目205
TEL 0770-56-1309 総務課
56-1304 指導相談課
56-1095 特別支援教育課
56-1302 研修課

FAX 0770-56-1391

教育相談室
56-1310

嶺南教育事務所 敦賀駐在

〒914-0811 福井県敦賀市中央町1丁目7-42
敦賀合同庁舎内
TEL. FAX 0770-24-0421

アクセス

